

1. 園の教育理念や方針について理解し、適切な指導計画を立て、環境を構成していますか。

できている	ふつう	できていない
9	1	
90.00%	10%	

理由:

- ・週単位ではなく教職員がその日あった様子などを報告し合い翌日以降の保育に活かしている。

2. 健康、安全への配慮を行い、保育の在り方や幼児への対応が適切と思われるか。

できている	ふつう	できていない
9	1	
90.00%	10%	

理由:

- ・常に保育者などが日々の健康状態を把握し、適切に対応できている

3. 教師の資質や能力の向上に努めているか。

できている	ふつう	できていない	回答なし
7	2	1	
70.00%	20.00%	10%	

理由:

- ・様々な研修に参加できている

4. 保護者への対応が適切にできているか。

できている	ふつう	できていない	回答なし
7	3		
70.00%	30.00%		

理由:

- ・保護者への発信だけでなく、保護者からの要望も都度聞き入れ対応できるようにしている

5. 地域の自然や社会とのかかわりができているか。

できている	ふつう	できていない
6	4	
60.00%	40.00%	

理由:

- ・まだまだ改善できるところがあると思う

6. 子育て支援について(預かり保育・課外教室など)適切にできていますか。

できている	ふつう	できていない	回答なし
7	3		
70.00%	30.00%		

理由:

- ・課外教室は参加者も多く、ニーズがある。預かり保育についても同じように30分ごとの利用など、保護者が利用しやすいようにできている。

7. その他の評価する点やご意見・ご感想があればお書きください。

- ・園の内外で見かける園児たちの姿に落ち着きがあり、場所に応じた行動が、自らできていると感じます
また、年上の人から年下の人への適切な援助ができていて日頃のたてわりクラスの構成の成果だと思えます。

◎ 保育の計画性

園の教育理念や方針を理解し、目指す子どもの姿をイメージして、保育を行っている。
しかしながら、長期の指導計画が少しマンネリ化しているため、改めて見直す必要がある。
保育者同士が互いに保育を見る機会がとれていない。
子どもたちの実態にあわせて安全で清潔感のある環境を常に心がけている。

◎ 保育のあり方、幼児への対応

常に子どもたちの事故防止に努め、子どもたち自身が危険を察知し回避できるように指導を続けている。少人数のため、クラスに関係なく教職員が全員で、一人ひとりの子どもを理解するよう努めている。

◎ 教師としての資質や能力・良識・適正

自らの健康にも配慮し、安全に気をつけている。
教師としての資質や知識を向上させるため、研修会に参加したが、お互いに学んだことを共有する機会が少なかった。また、学んだことを実際の保育に生かせていないと半数が感じていた。
役割分担による仕事は確実にこなし、互いに協力ができている。

◎ 保護者への対応

保護者への対応、相談などにも丁寧にかかわり、教職員が協力し、支援できるように努めている。

◎ 地域の自然や社会とのかかわり

園内での自然は活用できているが、なかなか地域の自然との関わりはとれていない。
また、小学校との連携も難しい。

◎ 今後の課題としてあげられること

- ・昨年度に引き続き、お互いの保育について分かち合い、自分の保育について考える機会がまだまだ不十分である。クラス交換などを行い、互いの保育を見学するなど、共有したい。
- ・地域との関わり、自然環境との関わりがまだまだ不十分なので、今後も関わりを持つよう検討する。
地域の幼保小連絡会の参加により他園との交流の機会を検討する。
- ・モンテッソーリ教育の目標である子どもの自主・自立をさらに引き出すよう努力する。
モンテッソーリ教師資格保有者を中心に、園内の研修を高めていく。
- ・昨年度に引き続き、行事や会議のあり方を検討し、自分たちでよりよい働き方を考え、保育活動の充実を目指す。

園長コメント

子どもの環境がめまぐるしく変化する中、キリスト教に根ざした教育を変わずに行っていきたいと考える。子ども一人一人を大切に、教職員は常に真面目に教育に取り組んでいる。

しかしながら、お互いの保育について振り返り、指導に生かしきれていないところがある。

この部分はまだまだ話しあって、園全体で改善する必要がある。

2019年度は、子ども達への負担を考え、スポーツデー、クリスマスなど大きな行事について改善を行った。しかしながら、保護者評価では、説明が不十分だったためきびしいご意見もいただいた。また、園からのお便り等についても、表現がわかりにくいなどの指摘もあった。

このようなご意見を受けて、今後は、より丁寧に説明し、保護者の理解を得られるように努めていきたい。

またここ数年、職員の入れ替わりにより職員への負担が続いている。今後は職員の増員を検討し、よりよい職場環境にしていきたい。

2020年度は利用定員を見直し、本園の特色であるモンテッソーリ教育が目指す、少人数で細やかな教育、子ども1人1人との関わりを充実させたいと考えている。

苦情・相談報告

1. 外部からの苦情

園バスの運行について 運転手の運転について危険である 交差点への進入	電話で対応 相手への謝罪 運転手への事実確認、指導を行う
園前歩道での保護者の態度 自転車での走行が危険	保護者へのお知らせプリントにて指導 該当番の職員が保護者へ注意喚起
バス停での子どもの態度 バス停の公園で大きな声で遊んでいる	現場確認後、保護者へのお知らせプリント配布 特に注意のあったバス停利用者へ注意喚起
徒歩通園の態度 子どもがうるさい	対象保護者と面談を行い指導

2. 保護者からの相談 (主幹教諭・園長対応)

- ・園バスのバス停変更についての相談
- ・休園、退園に関する相談
- ・DVD撮影の方法についての相談
- ・担任の言葉かけに対する相談